

甲 第 号

根津智子 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

報告番号	甲 第 号	氏 名	根津 智子
論文審査担当者	委員長	教 授	斎藤 能彦
	副委員長	教 授	嶋 緑倫
	委 員	教 授	藤本 眞一
	委 員	教 授	緒方 奈保子
	委 員	教 授	車谷 典男
	(指導教員)		

主論文

Health-related quality of life (HRQOL) decreases independently of chronic conditions and geriatric syndromes in older adults with diabetes: the Fujiwara-kyo study

糖尿病罹患高齢者の健康関連 QOL は合併する慢性疾患や老年症候群と独立して低下している：藤原京スタディ

Satoko Nezu, Nozomi Okamoto, Masayuki Morikawa, Keigo Saeki,
Kenji Obayashi, Kimiko Tomioka, Masayo Komatsu, Junko Iwamoto,
Norio Kurumatani

Journal of Epidemiology (accepted)
2014 年 5 月 (発行予定)

論文審査の要旨

本研究は、現在有病率が増加の一途をたどっている糖尿病の健康関連 QOL に及ぼす影響に注目した研究であり、特に、初期の糖尿病で自立して生活をされている高齢者糖尿症例に注目している点で、他に例のない独創的な研究である。

対象としては、申請者の所属している地域健康医学講座が実施している高齢者一般住民を対象にした大規模コホート研究である藤原京スタディーを対象にしている。藤原京スタディー参加登録者をベースラインの HbA1C 値と治療歴より、対象症例を HbA1C5.7 未満の対照群、HbA1C5.7 以上 6.5%未満の HbA1C 高値群、HbA1C が 6.5%以上もしくは糖尿と既に診断がくだされている糖尿病群に分け、その 3 群と、登録時に実施された SF-36 を用いた包括的健康関連 QOL の評価尺度との関係を検討した。SF-36 より求められる身体的側面、精神的側面、役割/社会的側面の健康感を表す 3 つのコンポーネントの各々の得点の下位 25 パーセントタイルを低 QOL 群とし、対照群に対する高 HbA1C 群と糖尿病群のオッズ比を多重ロジスティック回帰分析で算出している。

結果は、糖尿病群の調整オッズ比（調整因子：性、年齢、糖尿病関連疾患の有無、高血圧・肥満・睡眠障害・視覚障害・聴覚障害、老年症候群の有無）は身体的側面が 1.48(96%CI:1.18-1.84)と有意に高く、精神的側面や役割/社会的側面では有意な上昇はみられなかった。高 HbA1C 群では、これら 3 つのコンポーネントとも有意の上昇を認めなかった。糖尿病群におけるサブ解析として、HbA1C 値の 7.0%の以上と未満、治療方法、罹病期間に関して QOL の身体的側面の低下はどれも有意差は認められなかった。

本研究の最も重要な知見は、自立している老人で比較的軽症糖尿病症例においても、老年症候群をはじめとする高齢者に特有の既知の QOL 低下因子とは独立して、身体的側面で QOL の低下が認められることを、大規模コホートを用いて世界で初めて明らかにしたことであり、有意義な研究と評価される。

参 考 論 文

1. 特発性下垂体性小人症に対するヒト成長ホルモン(hGH)補充療法
根津智子、神末政樹、森本広之、橋本浩、上田直子、久世晋徳、澤本好克、中井寛明、宮田茂樹、田中一郎、吉岡章、岡本新悟
奈良医学雑誌 40: 16-22, 1989.
2. 21-ハイドロキシラーゼ欠損症(塩喪失型)1家系における出生前診断の試み
三上貞昭、森井直之、根津智子、山下千賀子、新家直子、寺本好弘、西村拓也、中宏之
奈良医学雑誌 42: 160-164, 1991.
3. 外来性再感染を含む多剤耐性結核菌による院内集団感染事例
大西靖美, 根津智子
保健師・看護師の結核展望 41: 81-85, 2003.
4. 奈良市における結核患者への服薬支援について アンケート調査から
凧初子、奥村久美、根津智子、松本 善孝
保健師・看護師の結核展望 48: 49-53, 2011.
5. 重症心身障害児等の在宅医療に関する実態調査
根津智子、富和清隆
日本小児科学会雑誌 116: 1244-1249, 2012.
6. Positive effect of daylight exposure on nocturnal urinary melatonin excretion in the elderly: a cross-sectional analysis of the HEIJO-KYO study.

Obayashi K, Saeki K, Iwamoto J, Okamoto N, Tomioka K, Nezu S,
Ikada Y, Kurumatani N.

J Clin Endocrinol Metab. 97: 4166-73, 2012.

7. 独歩可能な地域在住高齢者の日常生活活動の関連要因 —大規模コホート研究
(藤原京スタディ) ベースライン健診結果—

小松雅代、根津智子、富岡公子、羽崎完、原納明博、森川将行、高木正
博、山田全啓、松本善孝、岩本淳子、石塚理香、佐伯圭吾、岡本希、車谷
典男

日本衛生学雑誌 68:22-32, 2013.

8. Nocturnal urinary melatonin excretion is associated with non-dipper
pattern in elderly hypertensives.

Obayashi K, Saeki K, Iwamoto J, Okamoto N, Tomioka K, Nezu S,
Ikada Y, Kurumatani N.

Hypertens Res. 36: 736-40, 2013.

9. Influence of room heating on ambulatory blood pressure in winter: a
randomised controlled study.

Saeki K, Obayashi K, Iwamoto J, Tanaka Y, Tanaka N, Takata S,
Kubo H, Okamoto N, Tomioka K, Nezu S, Kurumatani N.

J Epidemiol Community Health. 67: 484-90, 2013.

10. Exposure to light at night, nocturnal urinary melatonin excretion, and
obesity/dyslipidemia in the elderly: a cross-sectional analysis of the
HEIJO-KYO study.

Obayashi K, Saeki K, Iwamoto J, Okamoto N, Tomioka K, Nezu S,
Ikada Y, Kurumatani N.

J Clin Endocrinol Metab. 98: 337-44, 2013.

11. Effect of exposure to evening light on sleep initiation in the elderly: A
longitudinal analysis for repeated measurements in home settings.

Obayashi K, Saeki K, Iwamoto J, Okamoto N, Tomioka K, Nezu S,
Ikada Y, Kurumatani N.

Chronobiol Int. 2013 Oct 22. [Epub ahead of print]

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに地域健康医学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

平成 26 年 3 月 6 日

学位審査委員長

循環器・腎臓病態制御医学

教 授 斎藤能彦

学位審査副委員長

発達・成育医学

教 授 嶋 緑倫

学位審査委員

病態解析医学・医療教育学

教 授 藤本眞一

学位審査委員

視覚統合医学

教 授 緒方奈保子

学位審査委員（指導教員）

地域健康医学

教 授 車谷典男